

《報道関係者各位》

2012年10月1日(月)

## 平屋建て・3階建て等の戸建住宅商品 “スマートハウス仕様”を展開 次世代制震システムEVASも同展開開始

株式会社LIXIL住宅研究所  
アイフルホームカンパニー

「こどもにやさしいは、みんなにやさしい」をコーポレートスローガンに掲げ、「アイフルホーム」ブランドの住宅FCを全国に展開している株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー(住所:東京都江東区亀戸1-5-7/プレジデント:勝又健一朗)は、平屋建て住宅『AYA(アヤ)』及び3階建て住宅『スプリーム』の戸建住宅全商品について、太陽光発電システムや家庭用エネルギー管理システム(HEMS)などの先進の環境設備を搭載した“スマートハウス仕様”を設定しました。

同時に、2階建て商品で先行している粘弾性モノコック構造である「次世代制震システム『EVAS(イーバス)』」仕様を平屋建て・3階建て住宅にも設定致しました。共に、10月1日(月)より全国のアイフルホーム加盟店にて販売を開始します。



《平屋建て住宅『AYA』外観写真》



《3階建て住宅『スプリーム』外観写真》

アイフルホームのスマートハウスは、アイフルホームが考えるキッズデザインの考え方を進化させ、テクノロジーだけに頼らない、「自然の恵みでかしこく暮らす家」をコンセプトに住む人がエコに気づき、自然とエコで快適な暮らしをするようになること、スマートな人を“かしこく”サポートすることができる仕様として、2階建て住宅「セシボ」にて先行し仕様設定しておりましたが、今回、平屋建て住宅、3階建て住宅にもスマートハウス仕様を展開致します。

また、2階建てで先行しておりました、高層ビルの制震装置に用いられる「粘弾性体」を採用した「次世代制震システム『EVAS(イーバス)』」仕様を平屋建て、3階建て住宅商品でも展開致します。高層ビルの制震装置に用いられる「粘弾性体」を用い、柱や梁などと構造用面材と一体化することにより、建物全体で地震のエネルギーを吸収する形、「家まるごと制震装置」としています。

アイフルホームは、安心して暮らせる機能と品質、時代に左右されないデザイン、さらには環境にも地球にもやさしく、住まう人がエコで快適な暮らしが出来、家族の絆を育む豊かな生活が出来る住まいをご提案します。

# 『スマートハウス仕様』の概要

## 1. 自然の恵みを上手に利用して、かしこく暮らす

### 【風】風を上手に利用する工夫

- 創風(温度差換気):室内温度が外気よりも高いとき、暖かく軽い空気が上昇する性質を利用した換気★
- 通風建具:扉本体をルーバーにすることで、扉を閉めていても風が流れます★
- ウィンドキャッチャー:風の流れに沿った場所は縦すべり出し窓にし、風を効率的に室内に採り入れます★
- 通風・創風シミュレーション:初夏から秋における、地域ごとの異なる風の流れをきめ細かくシミュレーション。1軒ごとに、効率的に風を採り入れ、風を逃がす通風・創風の最適シミュレーションを行います★

### 【光】光をコントロールする工夫

- グレーチング床:上の階の太陽の光が差込む場所の床を半透明にし、下の階へ明るさと暖かさを採り入れます
- アクリルパネル手すり壁:吹抜を囲む壁を透明なアクリルパネルにして、上の階に差し込む光を下の階にも広げます

### 【熱】熱をコントロールする工夫

- 水盤:水が地面への蓄熱を防ぐとともに、蒸発するときに熱を奪う効果で水盤上の空気の温度を下げます。
- オリジナル遮熱工法(天井):輻射熱を反射するシートを屋根に施工するオリジナル遮熱工法。屋根からの熱を室内に侵入するのを低減します★
- 遮熱型透湿防水シート(壁):外からの輻射熱を反射して室内に熱が侵入するのを低減します★

### 【水】水を大切に使う、無駄にしない

- 雨水タンク:雨水再利用システムを導入して、水道水の使用量を削減。また、万一の災害の時には生活用水としても活用できます

## 2. つくる、ためる、つかう 自然エネルギーをかしこく利用

### 【つくる】

- 太陽光発電システム:太陽の光で電気を発電します★
- エネファーム:都市ガスやLPガスを元に発電し、発電時に発生する熱でお湯が沸かせる効率的なシステム

### 【ためる】

- 蓄電池:安全性の高いリン酸鉄リチウムイオンを内蔵した2.3kwタイプの蓄電池

### 【つかう】

- HEMS(家庭用エネルギー管理システム):エネルギー「見える化」し、消費電力や太陽光発電の発電量をインターネットを接続したテレビやパソコンで確認できるシステム(写真1)★

図1:アイフルホームのスマートハウス全体イメージ



写真1:HEMS(モニター)



※ ★は標準仕様

## 『次世代制震システムEVAS』概要

高層ビルの制震装置に用いられる「粘弾性体」を採用し、これを1階から3階までの柱・間柱・梁・土台に貼り、構造用面材と一体化することにより、建物全体で地震のエネルギーを吸収する形、「家まるごと制震装置」としています。これにより、地震による建物の変形量を、一般住宅と比較して約10%～30%※2低減します。結果、繰り返しの地震に強い家となります。

※2 EX仕様の標準仕様となります。プランや地域、敷地条件、地震の規模や揺れの方位等によっては建物の変形量の低減率が異なります。



高層ビルの制震装置に用いられる粘弾性体

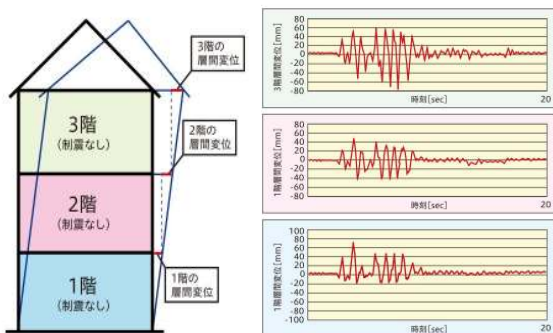


1階から3階の柱・間柱・梁・土台の建物外周部に粘弾性体の施工します。

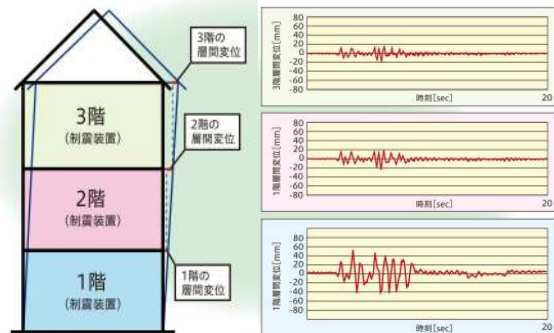


### 制震効果(シミュレーションによる解析結果)※3

#### 「粘弾性体」を取り付けていない一般住宅の場合



#### 「粘弾性体」で家を包み込んだ住宅の場合



「粘弾性体」が地震エネルギーを吸収し、熱エネルギーに変えることで建物の変形量を少なく抑えます。

※3 当解析は1995年に発生した阪神・淡路大震災の原波を使用して解析しております。原波は地震ごとに異なりますので、揺れ方や建物の変形量は異なります。本シミュレーションは、防災科学研究所での実物大振動実験結果となります。

アイフルホームは、これらの安全への配慮はもちろんのこと、子育てママの家事ストレスを低減するための工夫など、安心して暮らせる品質と、時代に左右されないデザインで家族の絆を育む豊かな生活を提案します。

※本件に関する報道関係者各位からのお問い合わせは下記までお願いします。

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 アイフルホーム広報担当 千明

電話：03-5626-8251 メール：[chigirak3@lixil-jk.co.jp](mailto:chigirak3@lixil-jk.co.jp)

アイフルホームホームページ/TOP URL：<http://www.eyefulhome.jp/>